

# 中部国際空港制限区域内で3輪EVを用いた試験運用実施

関連するマテリアリティ



地球環境に対する  
真摯な取り組み



最適な“移動”の提供による  
社会への貢献



パートナーシップによる  
価値共創

三菱オートリース株式会社、株式会社レンタルのニッケンおよび中部国際空港株式会社は、中部国際空港セントレアの制限区域内において、空港関係事業者向けに、3輪EVの試験運用に関する説明会・試乗会を実施し、試験運用を実施しました。



## 【1. 試験運用について】

### ■目的

本取り組みは、2024年6月に空港制限区域内で3輪車両の使用が可能になったことを受け、試験運用を実施するものです。空港制限区域内において、小回りや機動性を発揮できる3輪EVの有用性を検証し、効率的な車両運用の可能性を模索いたします。3輪EVに関しては、グランドハンドリング事業者からも高い関心が寄せられており、現場のニーズ把握に即した試験運用となります。また、中部国際空港の空港脱炭素化に向け、3輪EVが制限区域内の空港車両の選択肢のひとつとなり得るものなのか検証します。本試験運用では、事業者に3輪EVを1週間程度貸与し、通常業務でご使用いただきます。主に移動を中心とした連絡車としての使用を想定しており、EV車両の加速性能・環境配慮・コストメリットといった利点だけではなく、航続距離・充電の手間といったEV特有の課題点も体感していただきます。

三菱オートリースおよびレンタルのニッケンは、本試験運用にて取得したデータの収集・分析を行い、3輪EVの有用性を確認・検証します。制限区域内における3輪EVの可能性を追求し、よりご利用しやすい枠組みの策定を検討してまいります。

### ■実施概要

- 実施期間：2025年6月18日（水）から2025年7月31日（木）
- 対象エリア：中部国際空港 制限区域内（サービスレーンおよびスポット後方車両通行帯は除く）
- ※公道では利用しません。
- 運用内容：中部国際空港事業者の通常業務にて使用



▲メディア説明会の様子



▲試乗会の様子



▲試乗会の様子



▲試乗会の様子

### ■試乗会に参加された方のコメント

- ・ 加速がスムーズで、小回りも思っていたより良かったです。ある程度の荷物も運べるため利便性も高いと感じました。
- ・ ガソリンの同等車種と比べて車体が重く感じたが、3輪なので安定性は高かったです。